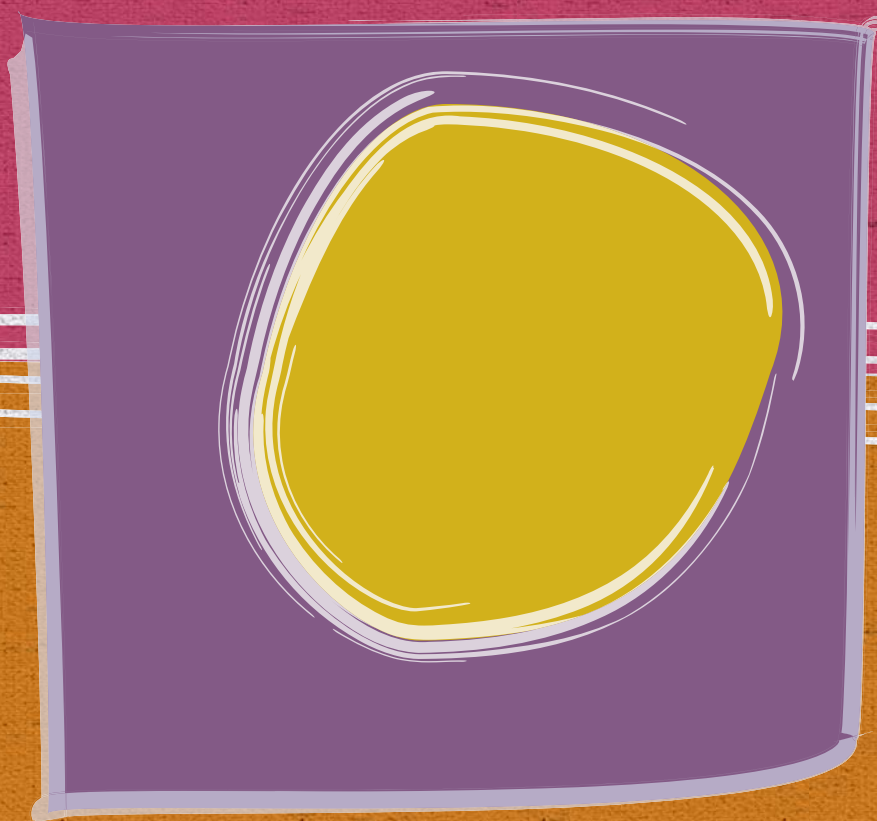


2010
06 Vol.607

The Record



平成21年度事業報告
2009年世界の音楽産業



一般社団法人 日本レコード協会



Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
平成21年度事業報告.....	3
2009年世界の音楽産業.....	7
PICK UP.....	10
私の一枚.....	11
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISK.....	14

5/06

携帯電話向けオークション サイトで海賊版音楽DVD販売の 被疑者を逮捕

5月6日、北海道警察本部および北海道
苫小牧警察署は、携帯電話向けオークショ
ンサイトを利用して、権利者に無断で音楽
のビデオクリップを複製したDVDを販売
していたとして、北海道白老町在住の41
歳女性を著作権法違反の容疑で逮捕した。

この事件は、被疑者がTVの音楽番組か
ら録画したビデオクリップを、権利者である
ユニバーサルミュージック合同会社、(株)エ
スエムイーレコーズおよび(株)ソニー・ミュ
ジックレコーズの許諾を得ずにDVDに複
製し、携帯電話向けオークションサイトを利用
して昨年9月に販売したものである。

イルを海外のストレージサイトにアップロード
し、自動リンク集サイトに音楽ファイルへのリン
クを設定することで不特定多数の者にダ
ウンロードさせていた男性(46歳)に対し、
懲役1年・執行猶予2年の判決を言い渡した。

この事件は、同男性が、自動リンク集の
無料レンタルサービス「ALINK」を利用して
開設された「曲貼り精鋭達のたまり場」とい
う名称のサイトにおいて、海外のストレージ
サイト「MediaFire」にアップロードした多数
の音楽ファイルへのリンクを自ら設定し違法
配信を行っていたもので、北海道警察本部
生活安全部生活経済課および北海道札幌
方面中央警察署に3月1日に著作権法違反
の疑いで逮捕されていたものである。

なお、海外ストレージサイトにアップロー
ドされた音楽ファイルへのリンク設定によ
る違法音楽配信に関して、著作権法違反の
判決が出されたのは今回が初めてである。

5/10

ヤフーオークションで 海賊版音楽DVD販売の 被疑者を逮捕

5月10日、埼玉県警察本部および埼玉
県大宮警察署は、ヤフーオークションを
利用して、権利者に無断で複製した音楽
DVDを販売していたとして、石川県石川
郡在住の39歳男性を著作権法違反の容
疑で逮捕した。

この事件は、被疑者がエイベックス・エン
タテインメント(株)が権利を有する市販
DVDを無断で複製し、昨年7月中旬にヤフー
オークションに出品して販売したものである。

5/12

インターネットラジオサービス を利用した違法配信の 被疑者を逮捕

5月12日、群馬県警察本部および群馬
県前橋警察署は、インターネットラジオサ
ービスを利用して権利者に無断で音楽を
配信していたとして、長崎市在住の43歳
男性を著作権法違反の容疑で逮捕した。

この事件は、被疑者が平成21年11月
11日に、(株)EMIミュージックジャパン、(株)
ポニーキャニオン、(株)ワーナーミュ
ジック・ジャパン、(株)エピックレコードジャ
パンおよび(株)ソニー・ミュージックレコーズ
が権利を有する楽曲を、権利者の許諾を
受けずに配信したものである。

5/10

海外のストレージサイトにア ップロードした音楽ファイルへの リンク設定により違法な音楽 配信を行っていた男性に判決

5月10日、札幌地方裁判所は、音楽ファ

5/12

Spanish Phonographic Producers 来協

5月12～14日にかけて、スペインの
音楽企業8社と、バンド4グループが来日



このエールマークは、レコード会社・
映像製作会社が提供するコンテンツを
示す一般社団法人 日本レコード協会の
登録商標です

し、スペインの音楽を日本に紹介する商業ミッションが行われた。今回の商業ミッションはスペイン貿易庁とスペイン大使館経済商務部の主催によって開催され、スペインとしては初めての試みである。

12日は渋谷DUOにおいて、BOAT BEAM、DORIAN、NO WAY OUT、THE RIGHT ONSのショーケースライブがあり、13~14日はスペイン大使館にて商談会が催された。

また14日には、IFPIのスペイン・ナショナルグループであるSpanish Phonographic Producers(Promusicae)と、インディーズ会社の団体であるIndependent Phonographic Union(UFi)、またアーティストの団体であるAsociacion de Representantes Tecnicos del Espectaculo(A.R.T.E.)が当協会に来協し、事業紹介の他、違法行為への対策等について意見交換をし、今後の協力関係について検討を行った。



5/28

第430回理事会・定時総会・ 第431回理事会開催 役員改選、石坂会長再任

5月28日、当協会は、東京都千代田区の東京會館において、第430回理事会、定時総会、および第431回理事会を開催し、平成21年度事業報告書、決算報告書、および役員人事が承認された。役員の内任期間は、いずれも2010年5月28日より2年間。なお、会長には、引き続き、石坂敬一ユニバーサルミュージック合同会社 会長が再任された。

事業報告の詳細については、本誌3~6ページ「平成21年度事業報告」を参照。

当協会役員人事

■ 再任・新任 (5月28日付)

[会長]

石坂敬一
ユニバーサル ミュージック合同会社 会長

[副会長]

稲垣博司
エイベックス・マーケティング株式会社
代表取締役会長

北川直樹

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表執行役コーポレート・エグゼクティブCEO

吉田 敬 (新任)

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
代表取締役社長兼CEO

齊藤正明 (新任)

ビクターエンタテインメント株式会社 代表取締役社長

[理事]

原 康晴

コロムビアミュージックエンタテインメント株式会社
代表執行役社長兼COO

重村博文 (新任)

キングレコード株式会社 代表取締役社長

西山千秋

株式会社テイチクエンタテインメント 代表取締役社長

小池一彦

ユニバーサル ミュージック合同会社
最高経営責任者兼社長

市井三衛

株式会社EMIミュージック・ジャパン
代表取締役社長兼CEO

佐藤智則 (新任)

日本クラウン株式会社 代表取締役社長

篠木雅博 (新任)

株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
代表取締役社長

桐畑敏春

株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長

平井文宏

株式会社バップ 代表取締役社長

原田 健

ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン
合同会社 最高経営責任者兼社長

後藤 豊

株式会社フォーライフ ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長

[専務理事]

水村雅博 (昇任)

一般社団法人 日本レコード協会

[常務理事]

田口幸太郎 (新任)

一般社団法人 日本レコード協会

[理事・事務局長]

高杉健二

一般社団法人 日本レコード協会

[監事]

長谷川彰介

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
代表取締役社長

高久光雄

株式会社ドリーミュージック 代表取締役社長兼CEO

石田英遠

弁護士

■ 退任 (5月28日付)

[副会長]

小池武久

キングレコード株式会社 代表取締役会長

[理事]

西野茂昭

日本クラウン株式会社 代表取締役会長

[専務理事]

生野秀年

一般社団法人 日本レコード協会

第430回理事会(平成22年5月度)議案 [5月28日開催]

■ 審議事項

1. 平成21年度事業報告書(案)の件
2. 平成21年度決算報告書(案)の件

以上2件、いずれも承認された。

■ 報告事項 (主なもの)

法制委員会関係報告

- (1) 文化庁著作権分科会「基本問題小委員会(5/10)」報告
- (2) 文化庁著作権分科会(5/21) 報告

定時総会議案 [5月28日開催]

■ 審議事項

1. 平成21年度事業報告書(案)の件
2. 平成21年度決算報告書(案)の件
3. 役員選任の件

以上3件、いずれも承認された。

第431回理事会(平成22年5月度)議案 [5月28日開催]

■ 審議事項

1. 会長選任の件
2. 副会長選任の件
3. 常勤役員および事務局長選任の件
4. 顧問委嘱の件
5. 広報委員長の件

以上5件、いずれも承認された。

平成21年度事業報告

平成21年度のレコード等の生産実績は、一昨年初以降の経済不況が大きく影響したことなどにより、前年を下回る結果となった。また、音楽産業成長の最大の阻害要因であるインターネット上の違法音楽配信の蔓延といった深刻な実態や、さらに、権利者の権利の切り下げによる特定の産業振興を目的とした法制度の導入論等に象徴されるように、レコード製作者を取り巻く環境はますます厳しい状況となっている。

平成21年度、当協会は、前年度に引き続き『レコード産業の復活を果たす』のスローガンを掲げ、「違法対策の強化」「需要拡大施策の充実・強化」「指定団体業務の推進」「法制度に対する的確な対応」及び「産業広報の強化」等の重点施策を中心に、以下の事業を推進した。

事業活動

[1]レコードの普及に関すること

1. 音楽CD再販制度の維持

(1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書に取り纏め、3月に公正取引委員会へ提出するとともに、当協会ホームページで公表した。

(2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを、1月15日から1月29日の間実施した。

2. パッケージと配信の共生

(1) 5月12日に第1回、1月21日に第2回の授賞式を開催した「CDショップ大賞」について、店頭展開及び広報展開の支援を行った。第2回授賞式は40媒体から取材を受けるとともに、店頭展開については主要チェーン店を含む全国546店のCDショップで実施され、新たな顕彰の認知拡大と店頭の活性化に向けた協力を行った。

(2) 「日本ゴールドディスク大賞」は大幅な見直しを行い、2月24日、記者発表方式にてコンラッド東京で授賞式を開催した。出席アーティストは、アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞の「嵐」を始め計6組となった。授賞式の模様等は190の媒体で取り上げられ、広告費に換算すると5億6,900万円の効果となった。

(3) 「着うたフル®」ウィークリーチャートの公表を4月10日から開始した。同チャートのランキングは、地上波民放テレビや衛星テレビの番組、携帯電話向けサイトなどで紹介されている。また、公表後もチャートの一層の充実を図るため、集計対象の配信事業者を当初の5社から拡大し、2月からは14社の協力を得て運営した。

3. 日本音楽の海外展開

(1) 音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催の「東京アジアミュージックマーケット」(TAM)に参画し、12ヶ国から49名(欧米26名、アジア23名)のバイヤーを招聘した。日本側は22社が商談会に参加した。また、TIFFCOM(映像関係の商談会)との連携イベントとして、台湾のヒット映画を題材に「映像の中の音楽

の重要性」に関するセミナーを共催した。3月中旬調査時点の成約件数は、CDパッケージ253件、配信138件、ライブ出演29件、その他完成品輸出等8件の実績となった(昨年同期の実績はCDパッケージ31件、配信3件、ライブ出演12件)。

(2) 海外向けポータルサイト「日本音楽娯楽快線」のアーティスト情報データベースとTAMのホームページを連携させて、TAM開催前後の海外バイヤーとの情報交換にアーティスト情報を有効利用した。また、「日本音楽娯楽快線」のコンテンツの充実を図り、アーティストのインタビュー動画や会員社のプレスリリースを掲載、これにより月平均ページビュー数が前年比61%増となった。

(3) 中国におけるネット上の違法対策として、RIAJ北京代表処(北京事務所)から中国の違法サイトに対して直接警告書を送付するスキームを構築し、実験的に17サイトに対して警告書送付・削除要請を実施した。この結果、9サイトの閉鎖または該当ページの削除が確認できた。また、中国における知的財産保護に関する啓発活動として、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)が3月に実施した「ほんと? ホント! フェア」中国版に参画した。北京でのセミナー及びイベント開催により、中国政府及び業界関係者の他、日本の関係省庁からも大きな注目を集めた。

4. 各種セミナーの開催

(1) RIAJセミナー
会員社及び関係団体対象に7回開催した。

(2) 大学寄付講座
慶應義塾大学及び立教大学で開講した。慶應義塾大学では2回の公開講座を開講し、多数の会員社社員や外部受講者も聴講した。

5. その他

(1) “Music J-CIS”(Music Japan-Copyright Information Service)の構成団体として、音楽権利情報データベースを充実させユーザーへのサービスを拡大するため、

平成21年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、平成21年度末時点での収録楽曲総件数は約368万件まで拡大した。

[2] レコードに関する調査研究および資料の蒐集に関すること

1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績、並びに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公開した。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

全国及び地域ごとのユーザー動向把握のため、調査手法をウェブ調査に切り替えて「2009年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、報告会を開催するとともに当協会ホームページ上で公開した。

[3] 録音による芸術文化の保存に関すること

1. 歴史的音源のアーカイブ事業の推進

平成23年度に予定される国立国会図書館のデジタルアーカイブ公開に向け、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)を中心にSP盤等の音源デジタル化作業を進めた。国立国会図書館(NDL)との契約を10月1日に締結し、平成21年度から24年度までの4年間で納入予定の約51,000音源のうち、13,073音源を本年度末までに納品した。

2. 「文化庁芸術祭」への協力

「第64回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として51作品を参加申請し、参加が承認された29作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

3. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「日本プロ音楽録音賞」を、当協会が(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、(社)日本オーディオ協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nestと共催し、12月3日に第16回授賞式を開催した。

[4] 著作権・著作隣接権等に関すること

1. 違法対策に向けた法改正

(1) 違法配信による音楽・映像を違法と知りながら複製することを権利侵害とする著作権法第30条の改正法案が全会一致で可決・成立、6月19日に公布され、本年1月1日に施行された。これは、当協会が中心となり政府審議会等の場で働きかけを行ってきたものである。

(2) プロバイダの責任強化及び発信者情報開示請求手続

の簡素化について、7月に知的財産戦略推進事務局に趣旨説明を行い、検討を要請した。また11月に同事務局が行ったネット侵害対策に関する意見募集に対して、プロバイダの責任強化及び発信者情報開示請求手続の簡素化などの意見をまとめ、提出した。さらに、2月に「コンテンツ強化専門調査会インターネット上の著作権侵害コンテンツ対策に関するワーキンググループ」において、違法配信対策に関する取組みの強化を求める意見表明を行った。

2. 携帯電話向け違法音楽配信への対策強化

(1) 違法サイトの運営者やアップローダーに対する5件の刑事事件を取扱った(昨年実績2件)。また、一部の刑事事件逮捕者に対しては民事の損害賠償請求の交渉も開始した。さらに、携帯電話向けレンタル掲示板を運営する大手8事業者に対し、自主的なパトロールなどを要請する文書を送付した結果、一部の事業者においては違法ファイルが一掃されるなどの効果が上がった。

(2) 違法サイトに対するフィルタリングの強化について、10月から当協会が提供する違法サイト情報の更新期間を短縮するとともに件数も拡大した。

(3) 違法ファイルの削除要請について、探索対象を携帯電話向けサイトから動画共有サイト及びストレージサービスまで拡大した結果、年間の削除要請件数は約8万件に増加した(前年度3万5千件)。携帯電話向けサイトの探索強化については、9月16日に設立した「違法音楽配信対策協議会」(次項参照)において、携帯キャリアの協力を得て検討を進めている。

(4) 違法音楽配信を根絶するための技術的対策について、4月に総務省が設置した「違法音楽配信対策WG」において、当協会から携帯端末レベルの技術的対策の検討を提案した。その後、総務省等関係省庁の支援のもと、当協会が中心となり、携帯キャリア、端末製造事業者などの参加を得て、9月16日に「違法音楽配信対策協議会」を設立し、当協会提案を含む実効性の高い対策について検討を行った。

(5) 違法サイトなどの情報掲載雑誌の発行社12社に対し、10月5日、音楽・映像・アニメ・ゲームなどの11団体連名で情報掲載の自粛を要請する文書を送付した。その後、同12社から同様の雑誌の発行は確認されていない。

3. 違法ファイル交換対策

(1) Winny等のファイル交換ソフトを利用した権利侵害の実態把握を行うとともに、「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」が3月に導入したプロバイダを通じた違法ユーザーへの警告スキームに

当協会も次年度から参加するための準備を行った。

- (2) 会員社がプロバイダから発信者情報開示を受けたWinMXユーザー3名について、誓約書の提出と損害賠償額の支払いにより和解した。また、当協会が特定した悪質なユーザーについて警察に立件を相談した結果、11月30日に全国10都道府県警察が行った違法P2Pユーザー11名の一斉摘発により当該ユーザーも逮捕されるに至った。

4. エルマークの導入促進

- (1) 平成21年3月から映画などの映像配信、ストリーミング配信のサイトを対象に加えた結果、事務局で把握する244事業者のうち、3月31日現在、233事業者・1,264サイトまでエルマークの採用が広がった(対象範囲拡大後、67事業者・256サイトの増加)。

5. 改正著作権法第30条とエルマークの認知拡大に向けた啓発活動

- (1) 改正著作権法第30条およびエルマークの認知拡大を図るため、12月6日、新宿ステーションスクエアにてイベントを実施した。国際レコード産業連盟(IFPI)ケネディ会長やアーティスト7組の参加を得て、イベントの様子は数多くの報道で取り上げられた。

- (2) 「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーンの一環として、中高生を対象に「やめよう違法ダウンロード」「エルマーク」をテーマとした標語、ポスター等の応募キャンペーンを10月から1月まで実施した。

- (3) 当協会のメディアへの働きかけにより、著作権法第30条の改正法案の成立時(6月)と施行日(1月1日)前後において、主要全国紙やテレビの報道で違法音楽ファイルのダウンロードの問題が大きく取り上げられた。また、知的財産戦略推進事務局、文化庁の政府広報テレビ番組の制作に協力し、改正著作権法第30条の周知の徹底を図った。

- (4) 著作権法第30条の改正にあわせて著作権啓発のパンフレットを改定し、各種イベントや文化庁主催の著作権セミナー等で配布した。また、約18,000の小中高校に著作権啓発の壁新聞を掲示した。

- (5) 「違法コピー撲滅キャンペーン」(STOP! ILLEGAL COPY キャンペーン)を継続的に展開し、著作権法第30条改正にあわせてポスター等を刷新し、全国4,000店のCDショップに配布した。

- (6) 「中高生の体験学習の一環として会員社に依頼がある「職場訪問」について、会員社が対応困難な場合にその訪問依頼を事務局で取り次ぎ、受け入れ可能社へ斡旋する仕組みを導入し、著作権啓発機会の増加に結びつけた。これにより、年間の職場訪問生徒数の合計は4,778名となった。また、職場訪問における活用を主目的とした著作権啓発ビデオを製作した。

6. 法制度に対する対応

- (1) 「レコード演奏権」立法化のための具体的活動の開始
法制委員会のワーキングチームで具体的な徴収体制の検討を開始するとともに、実演家の団体に対して徴収体制等を検討するための会議体の共同設置を提案し、11月より、月次開催の合同研究会が発足した。また、行政等への働きかけとして、2月に知的財産戦略推進事務局に意見書を提出した。

(2) 私的録音録画補償金問題の抜本的解決

私的録音録画補償金制度の抜本的見直しを促進するための活動を他の音楽権利者団体と共に継続した。また、11月に私的録画補償金管理協会(SARVH)がアナログチューナー非搭載DVDデジタル録画機器に係る補償金の納付を求め株式会社東芝を東京地裁に提訴したが、当協会はSARVHの構成団体として本件訴訟の支援を行った。

- (3) 「ネット法」「日本版フェアユース規定」の検討への対応
政府審議会において、日本版フェアユース規定の創設に関する検討が開始されたが、他の音楽権利者団体と共に慎重な検討を求める意見表明を行った。

(4) レコード保護期間の延長

「知的財産推進計画2010」の策定に関する意見書を2月に知的財産戦略推進事務局に提出し、レコード保護期間延長に関する検討の促進を求めた。

[5] レコードに関する出版物の刊行等

1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、日本のレコード産業の年間統計資料集として「日本のレコード産業2010」を和文、英文で発行した。これらは当協会ホームページ上でも公開した。

2. ホームページの運営

当協会サイトについて、検索システムの切り替えを行い、利便性の向上を図った。また、利便性とイメージの向上を図るため、トップページを全面的に刷新した(平成22年4月1日から公開)。

[6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収及び分配

1. 二次使用料収入の拡大

- (1) 日本放送協会との間で平成21～22年度使用料について2年契約が成立したが、日本民間放送連盟とは平成21年度以降の地上放送に関する二次使用料の額について協議が整わず、次年度以降も協議を継続することとなった。

- (2) 徴収額の合計は55億5,400万円(前年度比3.1%減)、

権利者分配額は49億1,900万円(前年度比3.8%減)となった。

2. 二次使用料の適正な分配

(1) 二次使用料委員会にて、二次使用料の分配基準を、原則として「正味出荷実績シェア実績」から「放送実績」へ変更する分配ルールの見直しを行った。

(2) 放送実績に基づく分配システムの開発に着手した。また、実績分配に用いるISRCの精度向上のため会員社と必要な取組みを継続した。

3. 送信可能化権管理事業の整備

民放テレビの動画オンデマンド配信及び民放ラジオのサイマル送信等について新たに利用許諾を行うと共に、2年目となる「NHKオンデマンド」に係る権利処理の諸条件について妥結した。

[7] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収及び分配

(1) 徴収額は36億4,200万円(前年度比2.8%減)、権利者分配額は32億5,000万円(前年度比2.6%減)となった。

(2) レンタル使用料メーカー分配実施に向けた関連団体との協議について、具体的方法等の協議を継続した。

[8] 私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の分配

1. 私的録音補償金

私的録音補償金管理協会(sarah)から1億2,900万円(前年度比36.4%減)を受領し、1億300万円(前年度比37.9%減)を権利者に分配した。

2. 私的録画補償金

私的録画補償金管理協会(SARVH)から4,360万円(前年度比1.3%増)を受領し、3,500万円(前年度比0.8%減)を権利者に分配した。

[9] その他

1. 公益法人制度改革への対応

4月の理事会・臨時総会にて一般社団法人への移行を決定後、11月の理事会・臨時総会で「定款変更案」他の承認を受け、12月2日に内閣府に対し移行認可申請書を提出した。その後、内閣府公益法人事務局の審査・審議・答申を経て認可を受け、平成22年4月1日に登記申請を行い、同日付で一般社団法人日本レコード協会となった。

2. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。

3. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体並びに国際レコード産業連盟(IFPI)及びアメリカレコード協会(RIAA)等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。

4. レコード倫理審査会の開催

月次会議にて会員社から発売される全邦楽作品10,984点について審査を行った。

5. “ISRC”(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

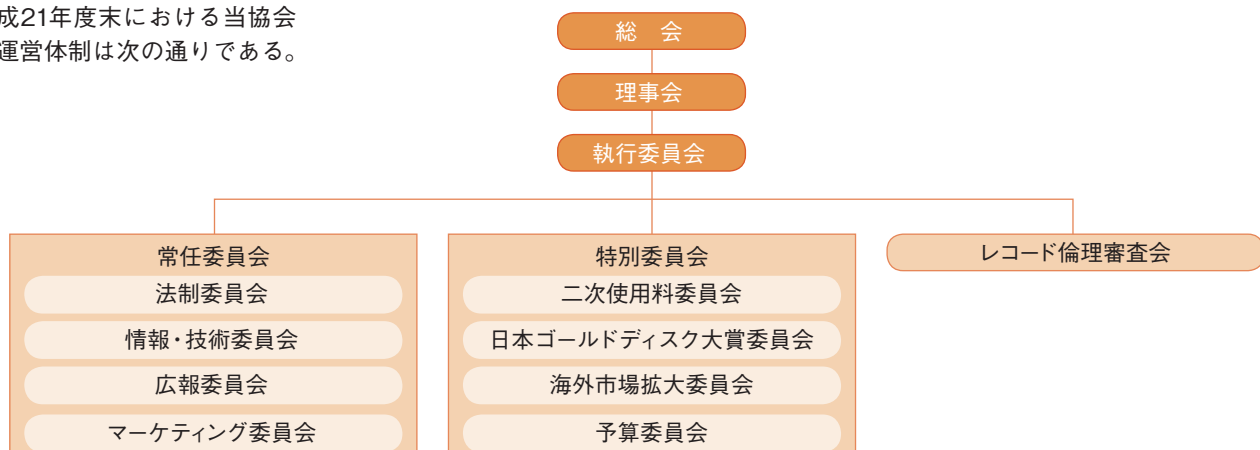
登録者コードの新規発行件数129件(前年度133件)、個別コードの発行曲数は17,870曲前年度12,298曲であり、3月末の累計数は登録者コード893件、個別コード61,929曲となった。

6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

今年度(第47回)は、5,500枚の音楽CDを184の福祉施設へ寄贈した。

運営体制

平成21年度末における当協会の運営体制は次の通りである。



以上

2009年 世界の音楽産業



IFPI(国際レコード産業連盟)は、年次レポートの「Recording Industry In Numbers 2010」を発行した。2009年の世界の音楽産業の動向をダイジェストで紹介する。

世界音楽売上実績

2009年の世界音楽売上高は、170億米ドル(レコード会社収入ベース)であり、2008年から7.2%減となった。パッケージ売上は前年比12.7%減と引き続き減少となったが、減少率は2008年よりやや小さくなっている。なお、小売ベースでは世界音楽市場は推定254億米ドルの規模となっている。

パッケージから音楽配信へのシフトが続き、2009年の世界音楽配信売上は前年比9.2%増の43億米ドルに達し、2004年の音楽配信市場規模と比べ、10倍以上となった。今や、音楽配信は世界音楽総売上高の25.3%を占めている。特に、アメリカでは配信売上が、音楽売上全体の43%と半分に迫っている。この他30カ国以上で配信売上は2桁成長を遂げており、オーストラリア、デンマーク、フィンランド、シンガポール、スウェーデン、イギリスを含む17のマーケットでは、配信売上は40%以上の増加となった。

市場全体が縮小しているが、世界音楽売上減少のおよそ80%は、二大音楽市場であるアメリカと日本で売上が落ち込んだことに起因しており、これら二つの市場を除くと、

2009年の音楽売上高の減少は前年比3.2%減となっている。さらに、オーストラリア、メキシコ、韓国、スウェーデン、イギリスなど13のマーケットでは、市場成長へ回復する兆しが見られ、そのうち、イギリス、インド、韓国、タイ、メキシコ、オーストラリアの6市場では、音楽配信売上の伸長がパッケージ売上の減少を補うという状況となっている。

一方、厳しい市況にもかかわらず、2009年、全世界のレコード会社の権利収入は前年比7.6%増の約8億米ドルとなった。2009年の権利収入が最も大きかった市場は、イギリス、日本、フランス、ドイツ、アメリカである。また、アメリカ、インドなどいくつかの市場では堅調な伸びが見られ、特に力強い成長が見られたラテンアメリカとカリブ海の市場では、レコード会社の権利収入が23.2%も増大し、メキシコの2009年権利収入は2008年の2倍以上となっている。北米も同様で、アメリカの2009年権利収入は前年を28.0%も上回った。全地域における権利収入の堅調な伸びとコスト削減の成功が増収につながった。

●メディア別売上金額(レコード会社収入ベース)

金額：百万 US ドル

	2008年	2009年	前年比
パッケージ	13,674	11,934	▲12.7%
音楽配信	3,944	4,307	9.2%
権利収入	729	785	7.6%
合計	18,347	17,026	▲7.2%

出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2010」

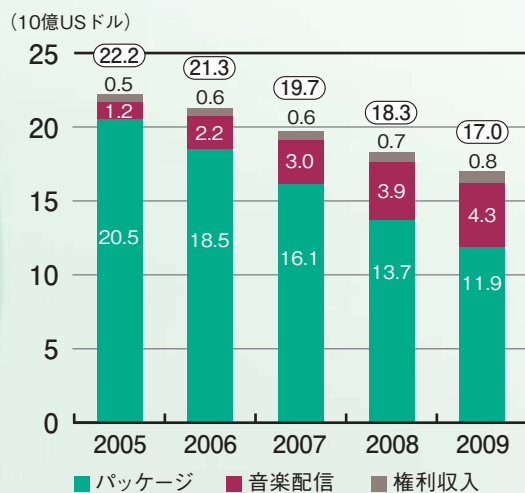
● 2009年 総売上上位20カ国

金額：百万USドル

	金額	前年比	シェア	パッケージ	音楽配信	権利収入
1 アメリカ	4,632	▲ 11%	27%	2,557	2,005	70
2 日本	4,050	▲ 11%	24%	2,991	972	87
3 イギリス	1,574	2%	9%	1,156	295	123
4 ドイツ	1,533	▲ 3%	9%	1,298	156	80
5 フランス	948	▲ 3%	6%	733	132	83
6 カナダ	396	▲ 7%	2%	297	81	19
7 オーストラリア	382	4%	2%	299	69	14
8 オランダ	265	▲ 3%	2%	200	17	49
9 イタリア	252	▲ 17%	1%	191	34	27
10 スペイン	246	▲ 14%	1%	178	32	36
11 ブラジル	204	1%	1%	165	27	13
12 スイス	178	▲ 7%	1%	149	22	7
13 ベルギー	167	▲ 7%	1%	131	15	21
14 オーストリア	145	▲ 1%	1%	116	15	14
15 韓国	145	10%	1%	65	80	-
16 スウェーデン	138	12%	1%	105	20	13
17 インド	128	2%	1%	64	40	25
18 メキシコ	121	0%	1%	102	18	1
19 ロシア	120	▲ 29%	1%	99	22	-
20 デンマーク	118	▲ 1%	1%	78	26	14
その他	1,285	▲ 8%	8%	962	232	92
合計	17,026	▲ 7%	100%	11,934	4,307	785

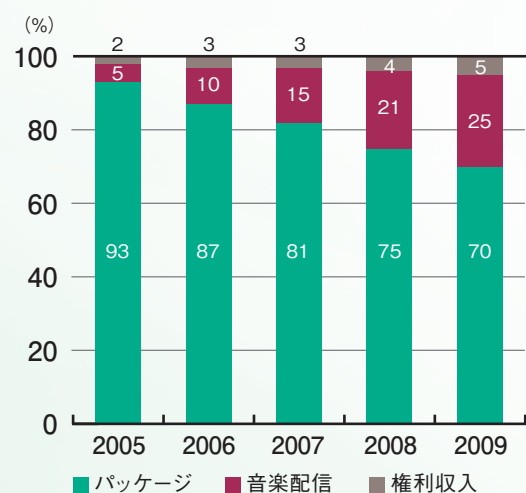
出典：IFPI [Recording Industry In Numbers 2010]

● 世界音楽売上一金額の推移 (レコード会社収入ベース)



出典：IFPI [Recording Industry In Numbers 2010]

● 世界音楽売上一メディア別割合の推移



出典：IFPI [Recording Industry In Numbers 2010]

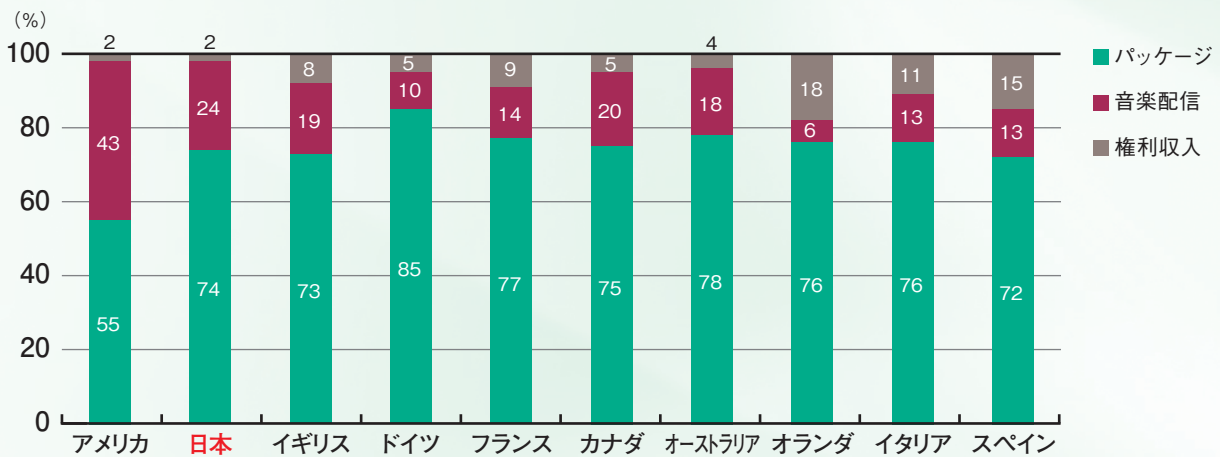
アジアマーケット

アジアでは、音楽会社の収入の26%が音楽配信によって生み出されている。中国、インドネシア、韓国、タイでは、音楽配信が音楽売上高の半分以上を占めている。アジア太平洋地域全体の売上高は9.2%減少したが、日本を除けば、2.5%の増加となっている。

ここ数年、回復基調にあった日本だが、2009年の音楽売上高は前年比10.8%減となった。不況が小売に深刻な影響

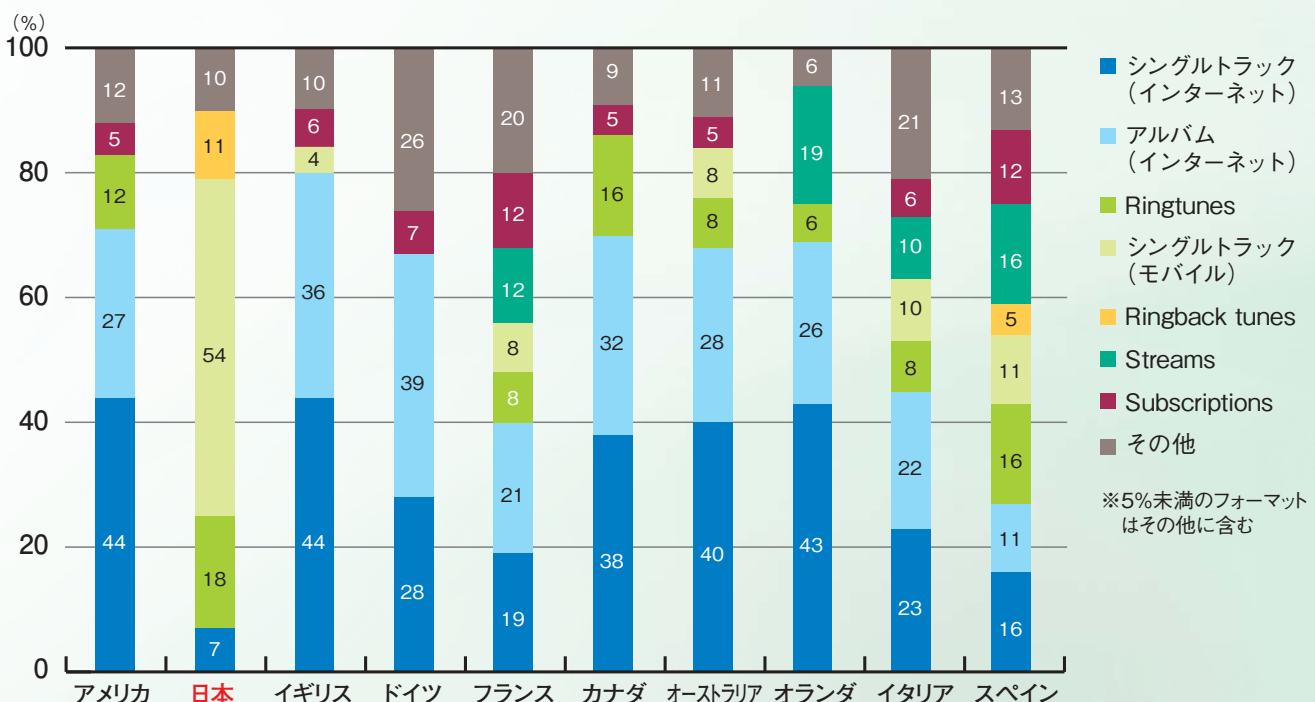
を及ぼし、パッケージ売上は前年比15.8%減と落ち込んだ。音楽のユビキタス性の高まりと違法コピーの横行も、売上の減少に拍車をかける大きな要因となっている。一方、音楽配信市場の売上高は前年比7.1%増と伸びを見せ、オンライン、サブスクリプションともに収入が前年に比べ20%以上増加した。また、「Ringback tunes」サービスも好調が続いている。

● 各国の音楽売上一メディア別割合



出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2010」

● 2009年 上位10カ国音楽配信売上一フォーマット別割合



出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2010」

PICK UP

一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構 (CODA) 記者会見開催

5月17日、当協会が加盟する一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構 (CODA)は、東京都中央区のホテル銀座ラフィナートにおいて、高井英幸代表幹事 (東宝(株)代表取締役社長)、後藤健郎CJマーク委員長((社)日本映像ソフト協会理事)、永野行雄常務理事による記者会見を開催した。冒頭、中国政府が上海万博において実施している知的財産権保護活動において、日本コンテンツ(アニメーション)が初めて対象となったことが報告された。中国では、上海万博開催に合わせ、国家新聞出版総署(国家版權局)から中国全土の版權局や文化市場行政執法総隊に対して海賊版の取り締まりに関する通知が行われ、日本のアニメーション作品等の海賊版業者に関して市場調査を行うことや違法行為者に対する刑事責任の追及などを指示した。中国からの通知によると複数の日本のアニメーション作品のタイトルが具体的に指定されているが、これらのタイトルは、CODAから国家版權局に対して、数年来にわたり海賊版の対応等を要請してきたものと合致している。



続いて、2009年度活動報告と2010年度活動計画が発表された。

CODAでは、2009年度、インターネット侵害への対応として経済産業省からの委託を受け2つの事業を実施した。

- ①インターネット上の侵害コンテンツを自動で識別するフィンガープリント技術の比較検証実験の実施。
- ②日本コンテンツが深刻な侵害を受けている中国の動画投稿サイトなどに対するCODA名義による削除依頼の実施。

また、中国、香港、台湾を対象に現地取締機関と共同で行った日本コンテンツのエンフォースメント活動では、DVD等45万枚を押収した。この結果、エンフォースメント活動を開始した2005年1月から2010年3月までの海賊版押収数は累計582万枚となった。これらのエンフォースメント活動と併せて、文化庁の支援の下、現地取締担当官に対して「トレーニングセミナー」を実施しているが、2009年

度は中国を中心とした7都市で延べ503名の担当官に対し研修を行った。

さらに、2010年3月20日には、北京において一般消費者向けに、著作権保護の重要性を訴える啓発イベント「2010中日版權保護活動日」を実施した。このイベントは、日中の著作権団体が共同で主催する初めてのものであり、日中両国の政府機関や民間の著作権管理団体等からも数多くの後援を受けた。イベントに先立ち、19日には、記者発表会や、日頃、著作権業務に携わっている実務者向けのシンポジウムを実施した。記者発表会においては、日中の登壇者から著作権保護の重要性や、イベントの必要性について言及された。イベントは、北京「新東安広場」で実施され、来場者は著作権関連のクイズラリーや日中の著作物の真正品・侵害品の展示、○×クイズ等に多数参加し、楽しみながら、著作権保護についての理解を深めた。

一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構 (CODA) 概要

■ 構成

音楽、映像、アニメ、書籍、ゲーム等のコンテンツ製作・流通者、業界団体及び著作権関係団体で構成される。

- ・代表理事：(社)日本映像ソフト協会 会長 高井 英幸 (東宝株式会社 代表取締役社長)
- ・企画委員会委員長：一般社団法人 日本レコード協会 海外グループ グループ長 阿部 秀男
- ・CODA専務理事 兼 CJマーク委員会委員長：(社)日本映像ソフト協会 理事・事務局長 後藤 健郎
- ・法制度委員会委員長：(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 契約グループ 代表 高嶋 裕彦
- ・会員数：企業会員27社、団体会員12団体、賛助会員4社
- ・関係省庁：経済産業省、文化庁、外務省
- ・事務局：〒102-0082 東京都千代田区一番町23番地3 日本生命一番町ビルLB TEL：03-3512-3906

■ 活動概要

我が国コンテンツの海外での流通促進を目的としつつ、海外における海賊版対策を講じる。各種海賊版対策に関する広報や会員間の情報交換のほか、国内外のコンテンツ関連団体・企業、取締機関、弁護士等の専門家を講師に招いたセミナー等を開催。また、個別活動としては、「CJマーク」を利用した共同権利行使 (CJマーク委員会活動)、海外の著作権関連法制度の検証 (法制度委員会活動)などを実施。このほか、海外の知的財産侵害問題の解決を図るため、日本の産業界が業種横断的に集まって組織されている国際知的財産保護フォーラム (IIPPF)の活動にも参加し、中国政府 (国家版權局)への意見具申などを行っている。

私の一枚



桐畑敏春
一般社団法人 日本レコード協会 理事
(株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長)

● 「天童節 新河内音頭」 (天童よしみ)



音楽業界に足を一歩踏み入れた、駆け出し営業マンの頃から、今でも大変印象に残っている、2人の思い出深いアーティストがいます。

まず1人目は、現在、テイチクエンタテインメント所属の天童よしみさんです。

昭和47年デビューの天童よしみさんは、昭和50年前後の数年間、ポニーキャニオン大阪支店(当時の関西ポニー)預かりの様な、プロモーション環境でした。

毎年、夏になると、「天童よしみの新河内音頭」を引っ提げ、大阪を中心に、京都・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・四国・中国・北陸地方など周辺を隈なく走り回り、各担当エリアの営業マンが、事実上の運転手兼マネージャー

兼司会兼即売担当という、一人四役をこなし、10代の若い天童さんと行動を共にしておりました。もちろん私もその中の1人でした。

天童さんの存在を知らしめるべく、エリア担当のセールス・特約店が協同し手造りで、大きなヒットに向けて足で稼ぐ、楽しい時代でした。

当時、各販売店の方々も大変協力的で、皆さんの何とかしてヒットに繋げてやろうという想いを、ひしひしと感じたものです。

今でも夏になると、あの天童よしみさんの「新河内音頭」が耳の奥で鳴り響きます。

このアルバム「天童よしみの新河内音頭」は、関西を中心にかかなり大きなセールス実績を残したのを覚えております。

その後、テイチクエンタテインメントに移られた後、見事に開花され、今日に至っているのは皆さんもご承知の通りです。益々のご活躍を期待しております。

2人目は、現在ヤマハミュージックコミュニケーションズ所属の中島みゆきさんです。

みゆきさんは、1975(昭和50)年にシングル「アザミ嬢のララバイ」でキャニオンレコードからデビュー、2枚目のシングル「時代」で大ブレイクしました。

「アザミ嬢のララバイ」も「時代」も2曲共、当時から大変好きな歌でした。特に「時代」には、なぜか何度も勇気付けられたのを覚えています。

この楽曲が、今も様々なシーンで流れてくるのを耳にする度に、中島みゆきさんのデビュー当時を思い出し、懐かしさと共に、現在でも十分に勝負出来る楽曲ではないかと、勝手に思っています。

「アザミ嬢のララバイ」と「時代」が収録された、1stアルバム「私の声が聞こえますか」(1976年)は、中島みゆきさんの数あるアルバムの中でも、特に大好きな1枚で、「あぶな坂」「ボギーボビーの赤いバラ」「海よ」「ひとり遊び」等々、好きな曲ばかりで何度繰返し聞いたか数え切れません。

ヤマハ音楽振興会の第9回ポピュラーソングコンテストの本選会、同年の第6回世界歌謡祭グランプリでは、当時まだ珍しい女性のシンガーソングライターとして、名曲「時代」の圧倒的な迫力と歌唱力で、会場が静まり返りました。中島みゆきさんの登場は、日本の音楽シーンにおいて「時代」を象徴する出来事でした。

今現在も、このお二人が、第一線で頑張っておられるのを、心から喜んでおります。これからも永くご活躍されることを、願っております。

● 「私の声が聞こえますか」 (中島みゆき)



2010年 第1四半期有料音楽配信売上実績

2010年第1四半期は、数量で前年同期比95%の1億1,194万ダウンロード、金額で前年同期比98%の220億7,400万円となりました。
内訳では、インターネット・ダウンロードが、数量で前年同期比104%の1,183万回、金額で前年同期比109%の26億5,700万円、モバイルが、数量で前年同期比94%の1億4万回、金額で前年同期比97%の190億7,400万円となっています。

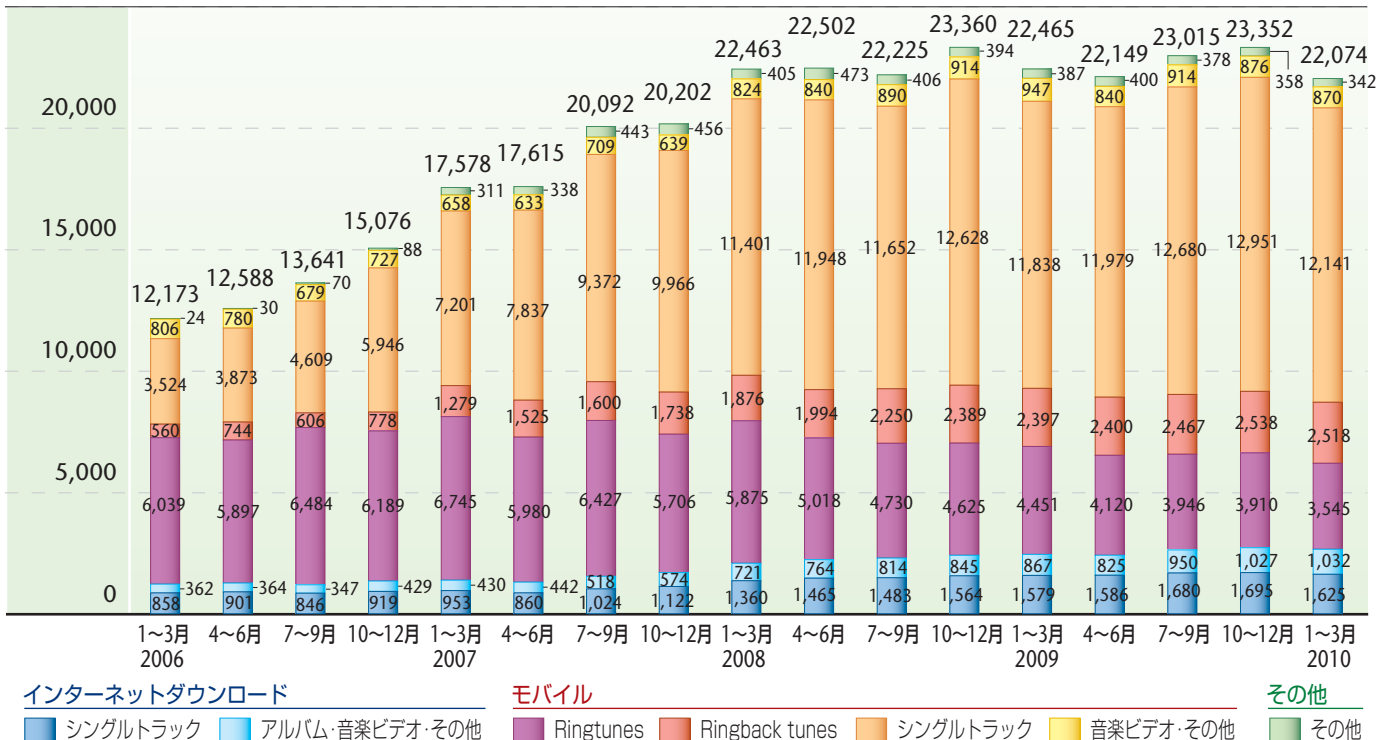
(数量：千回／金額：百万円)

	形態	2010年1月～2010年3月			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネット ダウンロード	シングルトラック	10,678	103%	1,625	103%
	アルバム	698	112%	887	121%
	小計 (オーディオダウンロード分)	11,377	104%	2,512	109%
	音楽ビデオ	457	106%	145	109%
	その他	0	—	0	—
	合計	11,834	104%	2,657	109%
モバイル	Ringtunes	34,416	83%	3,545	80%
	Ringback tunes	28,524	101%	2,518	105%
	シングルトラック	35,011	101%	12,141	103%
	音楽ビデオ	1,906	92%	688	95%
	その他	185	27%	182	83%
	合計	100,041	94%	19,074	97%
その他	サブスクリプション (インターネット)	—	—	149	90%
	サブスクリプション (モバイル)	—	—	90	91%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	59	403%	103	85%
総合計		111,935	95%	22,074	98%

注：数量…ダウンロード回数

● 有料音楽配信四半期毎金額推移

単位：百万円



Monthly Production Report

2010年4月度レコード生産実績

4月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比109%の1,903万枚・巻、金額で同102%の208億円となり、数量・金額ともに前年同月を上回りました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比110%の1,514万枚・巻、金額で同97%の156億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比106%の390万枚・巻、金額で同121%の52億円となっています。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		4月実績						2010年1月～2010年4月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シングル	8cmCD	邦	5	0	42%	3	0	39%	20	0	62%	10	0	61%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	7%	0	0	26%
		計	5	0	42%	3	0	39%	20	0	58%	10	0	60%
シングル	12cmCD	邦	3,914	26	107%	2,692	17	90%	13,241	21	90%	9,475	14	82%
		洋	26	0	83%	21	0	87%	45	0	46%	37	0	64%
		計	3,940	26	107%	2,713	17	90%	13,286	21	89%	9,511	14	82%
シングル	小計	邦	3,919	26	107%	2,695	17	90%	13,261	21	90%	9,485	14	82%
		洋	26	0	83%	21	0	87%	46	0	45%	37	0	64%
		計	3,945	26	107%	2,715	17	90%	13,307	21	89%	9,522	14	82%
シングル	12cmCD アルバム	邦	7,754	51	109%	9,875	63	104%	37,734	59	98%	47,598	68	93%
		洋	3,142	21	118%	2,801	18	87%	11,951	19	89%	11,822	17	74%
		計	10,895	72	112%	12,676	81	100%	49,684	77	96%	59,420	85	88%
シングル	CD 合計	邦	11,672	77	108%	12,570	80	100%	50,995	79	96%	57,083	82	91%
		洋	3,168	21	118%	2,822	18	87%	11,996	19	89%	11,859	17	74%
		計	14,840	98	110%	15,392	98	98%	62,991	98	94%	68,942	98	87%
シングル	アナログ ディスク	邦	6	0	97%	12	0	108%	21	0	73%	40	0	79%
		洋	0	0	4%	0	0	5%	4	0	28%	6	0	37%
		計	6	0	47%	13	0	65%	25	0	59%	47	0	68%
シングル	カセット テープ	邦	247	2	93%	197	1	87%	1,079	2	73%	869	1	80%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
		計	247	2	93%	197	1	87%	1,079	2	73%	870	1	80%
シングル	その他	邦	14	0	60%	14	0	24%	52	0	74%	48	0	40%
		洋	27	0	162%	28	0	101%	67	0	107%	86	0	66%
		計	41	0	103%	42	0	49%	119	0	90%	134	0	54%
合計	合計	邦	11,940	79	108%	12,793	82	100%	52,147	81	95%	58,041	83	90%
		洋	3,196	21	118%	2,850	18	87%	12,067	19	89%	11,952	17	74%
		計	15,136	100	110%	15,643	100	97%	64,214	100	94%	69,992	100	87%

● 音楽ビデオ

		4月実績						2010年1月～2010年4月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,420	88	100%	4,659	90	119%	13,848	90	76%	16,506	91	79%
	洋	444	11	194%	395	8	132%	1,344	9	115%	1,278	7	81%
	計	3,864	99	106%	5,054	97	120%	15,192	99	78%	17,784	98	80%
テープ・LDその他		33	1	180%	131	3	201%	114	1	108%	400	2	139%
合計	邦	3,429	88	100%	4,693	90	118%	13,922	91	76%	16,761	92	80%
	洋	468	12	202%	493	10	160%	1,385	9	118%	1,423	8	89%
	計	3,897	100	106%	5,185	100	121%	15,306	100	78%	18,184	100	80%

● 音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ合計）

	4月実績						2010年1月～2010年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	15,136	80	110%	15,643	75	97%	64,214	81	94%	69,992	79	87%
音楽ビデオ	3,897	20	106%	5,185	25	121%	15,306	19	78%	18,184	21	80%
合計	19,032	100	109%	20,829	100	102%	79,520	100	90%	88,176	100	86%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	4月実績						2010年1月～2010年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	7,250	94	103%	11,818	88	89%	29,626	94	84%	49,239	88	80%
テープ・LDその他	461	6	430%	1,653	12	361%	1,895	6	316%	6,623	12	266%
合計	7,711	100	108%	13,471	100	98%	31,521	100	88%	55,862	100	88%

● オーディオ／ビデオ合計

	4月実績						2010年1月～2010年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	15,136	66	110%	15,643	54	97%	64,214	67	94%	69,992	56	87%
ビデオ	7,711	34	108%	13,471	46	98%	31,521	33	88%	55,862	44	88%
合計	22,847	100	109%	29,114	100	97%	95,735	100	92%	125,854	100	87%

備考 1. 上記実績は、会員会社「59社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● プラチナ

BABY 神曲たち	aiko AKB48	2010.03.31 2010.04.07	PC K
VOCALIST 4	徳永英明	2010.04.20	UM
LOVE one.	西野カナ	2009.06.24	SE
Rock'n'Roll Circus	浜崎あゆみ	2010.04.14	AMI

● ゴールド

LAST	UVERworld	2010.04.14	SR
テゴマスのあい	テゴマス	2010.04.21	JE
クライマックス 80's YELLOW	ヴァリアス	2008.12.24	MH

シングル

● プラチナ

また君に恋してる/アジアの海賊	坂本冬美	2009.01.07	EMI
-----------------	------	------------	-----

● ゴールド

勇気100%	NYC	2010.04.07	JE
不自然なガール	Perfume	2010.04.14	TJC
Happy	BUMP OF CHICKEN	2010.04.14	TF
魔法の料理 ~君から君へ~	BUMP OF CHICKEN	2010.04.21	TF
GO!GO! MANIAC	放課後ティータイム	2010.04.28	PC
Listen!!	放課後ティータイム	2010.04.28	PC

ビデオ

● ダブル・プラチナ

ARASHI Anniversary Tour 5×10	嵐	2010.04.07	JA
------------------------------	---	------------	----

● ゴールド

COUNTDOWN LIVE 2009-2010 in 京セラドーム大阪	関ジャニ∞	2010.03.31	TE
--------------------------------------	-------	------------	----

洋楽

アルバム

● ダブル・プラチナ

ザ・フェイム	レディー・ガガ	2009.05.20	UM
--------	---------	------------	----

● ゴールド

ザ・リミックス	レディー・ガガ	2010.03.03	UM
I Love You	Various	2009.04.01	WJ

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

以降、100万毎に賞を設定

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / AMI:エイベックス・マーケティング / EMI:EMIミュージック・ジャパン / ES:EPICレコードジャパン / JA:ジェイ・ストーム / JE:ジャニーズ・エンタテイメント / K:キングレコード / MH:ソニー・ミュージックダイレクト / PC:ポニーキャニオン / SE:エスエムイーレコーズ / SR:ソニー・ミュージックレコーズ / TE:テイチクエンタテインメント / TF:トイズファクトリー / TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ / UM:ユニバーサルミュージック / WJ:ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

FOREVER LOVE	清水 翔太 × 加藤ミリヤ	2009.12.23	SR
Best Friend	西野カナ	2010.02.03	SE

● ダブル・プラチナ

YELL	いきものがかり	2009.07.29	ES
19 Memories	加藤ミリヤ	2008.02.13	SR

「着うたフル®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

CHE.R.RY	YUI	2007.03.08	SR
----------	-----	------------	----

● ダブル・プラチナ

雪の華	中島美嘉	2005.03.02	AI
Best Friend	西野カナ	2010.02.17	SE

● プラチナ

secret base ~君がくれたもの~	ZONE	2005.04.13	SR
-----------------------	------	------------	----

● ゴールド

やさしさに包まれたなら	荒井由実	2005.03.10	EMI
RIVER	AKB48	2009.10.14	K
BYE BYE	加藤ミリヤ	2010.03.24	SR

W-B-X ~ W-Boiled Extreme ~

異邦人	上木彩矢 w TAKUYA	2009.11.11	AMI
こんなに近くで..	久保田早紀	2006.07.12	MH
恋しさと せつなさと 心強さと	Crystal Kay	2007.02.28	ES
瞬間センチメンタル	篠原涼子 with t.komuro	2005.04.11	MH
大丈夫	SCANDAL	2010.02.03	ES
道標	ヒルクライム	2010.04.14	UM
好きだから	福山雅治	2009.05.20	UM
メリッサ	ベッキー 1st	2010.01.27	EMI
遠く遠く ~ '60 ヴァージョン	ボルノグラフィティ	2007.11.21	SE
	横原敬之	2006.02.01	EMI

PC 配信(シングル)

邦楽

● プラチナ

歩み	GReeeeN	2009.01.28	UM
春夏秋冬	ヒルクライム	2009.09.30	UM

● ゴールド

また君に恋してる	坂本冬美	2009.10.07	EMI
----------	------	------------	-----

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

当協会公式携帯サイト「Respect Our Music Mobile」のTOPページをリニューアルしました。白を基調とし、コンテンツを探しやすい構成となっております。また、2009年度「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーンのキャラクター部門でグランプリを受賞した「守りタイ」もサイト内にかわいく登場しています。

ぜひご覧下さい。http://www.rom-m.jp/



Respect
our MUSIC



「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーン
キャラクター部門グランプリ授賞作品
守りタイ
香川県立高松工芸高等学校 デザイン科1年

THE RECORD No.607 2010年6月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 水村 雅博
発行日 2010年6月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: http://www.riaj.or.jp/

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

春の修学旅行シーズンでは、今年も全国から沢山の生徒さんが、職場訪問として事務所を訪れました。生徒の皆さんに普段の音楽の楽しみ方を質問すると、音楽配信やCDレンタルを利用しつつも、大好きなアーティストのCDは買うという回答がです。大切なもの、大好きなものは形として手元に置いておきたいという気持ちが若干でも中学・高校生に浸透していることを発見し、ホッとする一方で、知識不足から、知らないうちに著作権侵害を起こしている方が多いことに驚きます。若年層の生の声を聞くことにより、より一層の著作権啓発の必要性を強く感じています。

(T)

■ 当機関誌へのご意見・感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: http://www.riaj.or.jp)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。